

2022年5月26日

2022年度

LEC日商簿記受講生の皆様へ

LEC東京リーガルマインド

日商簿記事業本部

### 合格答練3級 第3回 訂正のお知らせ

表題の教材につきまして、下記のとおり訂正がございますので、ご連絡申し上げます。受講生の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。

#### ■第3回解答解説<BL22309>

頁	訂正方法
7, 8	<u>本ご案内の2枚目以降へ差替えいただきますようお願い申し上げます。</u>

東京リーガルマインド日商簿記事業本部

お問合せ：LECコールセンター ナビダイヤル 0570 - 064 - 464

(月～金9:30～20:00 / 土・祝10:00～19:00 / 日10:00～18:00)

※ナビダイヤルは、通話料はお客様のご負担となります。 ※PHS・IP電話からはご利用できません。



BL22342

**【解説】**

(1)

保険料勘定および前払保険料勘定の記入に関する問題です。日付ごとに処理を考え、保険料勘定および前払保険料勘定に記入します。

1. 期首の開始記入および再振替仕訳

(1) 開始記入

資産・負債・純資産は期末残高を翌期に繰越し、翌期首に繰越額を用いて開始記入をします。  
前払保険料勘定は資産項目なので、4月1日に借方に「前期繰越 14,000」と記入します。

$$\text{繰越額 (前期末計上前払保険料)} : \text{¥}24,000 \times \frac{7\text{ヶ月 (4/1}\sim\text{10/31)}}{12\text{ヶ月}} = \text{¥}14,000$$

(2) 再振替仕訳

前期末に次の仕訳をしています。

(借)	前	払	保	険	料	14,000	(貸)	保	険	料	14,000
-----	---	---	---	---	---	--------	-----	---	---	---	--------

当期首に上記の仕訳の逆仕訳（再振替仕訳）をします。

(借)	保	険	料	14,000	(貸)	前	払	保	険	料	14,000
-----	---	---	---	--------	-----	---	---	---	---	---	--------

2. 11月1日の保険料支払時の仕訳

(借)	保	険	料	26,400	(貸)	現	金	26,400
-----	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

3. 3月31日の決算整理仕訳および損益振替仕訳

(1) 上記2. で支払った保険料は向こう1年分の保険料なので、翌期分が含まれています。翌期分については、当期の保険料の集計から除く処理をします。

(借)	前	払	保	険	料	15,400	(貸)	保	険	料	15,400
-----	---	---	---	---	---	--------	-----	---	---	---	--------

$$\text{前払保険料} : \text{¥}26,400 \times \frac{7\text{ヶ月 (4/1}\sim\text{10/31)}}{12\text{ヶ月}} = \text{¥}15,400$$

(2) 保険料勘定の決算整理後残高を損益勘定に振替えて保険料勘定を締切ります。

(借)	損	益	25,000	(貸)	保	険	料	25,000
-----	---	---	--------	-----	---	---	---	--------

$$\text{決算整理後残高} : \text{借方合計 (¥}14,000 + \text{¥}26,400) - \text{貸方合計 ¥}15,400 = \text{¥}25,000 \text{ (借方残高)}$$

(3) 繰越記入

資産・負債・純資産は期末残高を翌期に繰越すために、繰越額を次期繰越として記入します。  
前払保険料勘定は資産項目なので、3月31日に貸方に「次期繰越 15,400」と記入します。

4. 翌期首の開始記入および再振替仕訳

(1) 開始記入

資産・負債・純資産は期末残高を翌期に繰越し、翌期首に繰越額を用いて開始記入をします。  
前払保険料勘定は資産項目なので、4月1日に借方に「前期繰越 15,400」と記入します。

(2) 再振替仕訳

当期末に次の仕訳をしています。

(借) 前 払 保 険 料	15,400	(貸) 保 険 料	15,400
---------------	--------	-----------	--------

翌期首に上記の仕訳の逆仕訳（再振替仕訳）をします。

(借) 保 険 料	15,400	(貸) 前 払 保 険 料	15,400
-----------	--------	---------------	--------

(2)

帳簿や会計処理などに関する文章の穴埋め問題です。それぞれが何について述べている文章かを把握して、適切な語句を選択できたかがポイントです。

ア. 借方と貸方の合計が常に一致するという原理を、貸借平均の原理といいます。

イ. 補助元帳には、得意先元帳・仕入先元帳・商品有高帳があります。仕入先元帳は、仕入先ごとの買掛金の増減や残高を把握する補助簿であり、買掛金元帳ともいいます。

ウ. 建物に対する減価償却累計額は、建物の価値減少分（減価償却費）の累計額を意味します。減価償却累計額を建物の期末残高から控除することで、建物の期末における帳簿価額を評価することができます。そのため、減価償却累計額は、評価勘定と呼ばれます。

売掛金に対して設定された貸倒引当金は、売掛金の期末残高のうち翌期中に回収ができないと見込まれる金額を意味します。この貸倒引当金を売掛金の期末残高から控除することで、売掛金の期末残高のうち、翌期中に回収が可能だと見込まれる金額を評価することができます。そのため、貸倒引当金も、評価勘定と呼ばれます。

エ. 売上原価は、「期首商品棚卸高＋当期商品仕入高－期末商品棚卸高」により算出できます。商品の期首商品棚卸高と当期商品仕入高が一定であるとした場合に、期末商品棚卸高が大きくなるということは、売上原価の金額は小さくなります。よって、売上高と売上原価との差額である売上総利益は、大きくなります。